

## 第25回さいたま市自治基本条例検討委員会

### 次 第

平成23年6月14日（火）午後6時45分～  
さいたま市役所第2別館第1会議室

#### 1 開 会

#### 2 議題

（1）各チームからの報告事項について

（2）自治基本条例について

#### 3 その他

#### 4 閉会

#### 【配付資料】

次第

資料1 条例案骨子の修正（案）

参考資料1 市民から寄せられた意見

参考資料2 旧4市の市民憲章

条例案骨子の修正（案）

資料1

| 中間報告・条例案骨子  | 修正(案)  | 疑問点等(第19・20回検討委員会での意見)及び最終報告たたき台作成チームで検討した対応等  |
|---|--|--|
| (5) 市政運営・まちづくり  | 第5章 市政運営及びまちづくり  |  |
| ⑦総合振興計画<br>●（総合振興計画の策定等）<br>・ 市長は、 <u>市政の総合的かつ計画的な運営</u> を行うため、 <u>総合振興計画</u> を策定し、公表しなければならない。<br>・ 市長は、総合振興計画の策定に当たっては、 <u>積極的に市民の参加を求めなければならない</u> 。<br>・ 市長は、総合振興計画の実施状況を <u>定期的に確認する</u> とともに、公表しなければならない。<br>・ 市長は、社会経済情勢や <u>市民ニーズ</u> 等の変化に柔軟に対応するとともに、必要に応じて総合振興計画の見直しを行うものとする。  | (総合振興計画)<br>第20条 市は、目指すべき市の将来都市像を示し、市政を総合的かつ計画的に運営するための最も基本となる計画（以下、総合振興計画といいます。）を策定しなければなりません。<br>2 市は、総合振興計画の策定及び見直しに当たっては、市民参加により行わなければなりません。<br>3 市は、総合振興計画の実施状況を定期的に確認するとともに、公表しなければなりません。<br>4 市は、総合振興計画の実施に当たっては、社会の変化に柔軟に対応するとともに、必要に応じて総合振興計画の見直しを行うものとします。 | ア 総合振興計画について、この条例に書く必要があるか。⇒ <b>地方自治法の改正により、策定するか否かは自治体の判断となる。市政運営の幹となる計画であり、自治基本条例に規定した方がよい。</b><br>イ 総合振興計画とは何かが逐条解説を読まなければ分からない。「総合振興計画」が唐突ではないか。「自治体の運営の基本となるような長期的な計画」といった文言を括弧で追記してはどうか。その場合、「市政の総合的かつ計画的な運営を行うため」と重なるのではないか。⇒ <b>総合振興計画の説明「目指すべき市の将来都市像を示し、市政を総合的かつ計画的に運営ための最も基本となる計画」を記述。</b><br>ウ 「総合振興計画」という名称について、「総合計画」の方が一般的ではないか。⇒ <b>現状の名称とあわせる。</b><br>エ 2つ目の「・」で、「市民の参加を求めなければならない」とは具体的に何を意味するかが不明瞭であり、参加できる市民が限定されることを排除できないのではないか。（「限定されることを排除できない」のであれば、「多様な市民」としか書きようがないのではないか。生活者の視点を盛り込むことが必要なので参加するので、それが伝わりづらいのであれば、整理する必要がある。）⇒ <b>審議会委員の公募やワークショップの開催、アンケート実施など様々な方法があり、例示はしない。</b><br>オ 2つ目の「・」は「市政への参加」に整理ができるのではないか。⇒ <b>重要な計画であり明記。</b><br>カ 3つ目の「・」で、「定期的に確認する」は、行政評価に整理ができるのではないか。⇒ <b>重要な計画であり明記。</b><br>キ 4つ目の「・」で、「市民ニーズ」は唐突であるので平易にすべきではないか。カタカナ表記でよい。⇒ <b>「社会の変化」で総括。</b> |
| ⑧財政運営<br>●（健全な財政運営）<br>・ 市長等は、 <u>効果的かつ効率的な市政運営</u> 、必要な財源の確保、市の財産の <u>適切な管理及び効率的な運用に努めることにより</u> 、 <u>中長期的視野に立った</u> 財政の健全性の確保を図らなければならない。<br>・ 議会は、 <u>市の意思決定を行うに当たっては</u> 、 <u>中長期的視野に立った</u> 財政の健全性の確保を <u>十分に考慮</u> しなければならない。<br>・ 市長等は、 <u>透明性の確保</u> 及び財政状況に関する市民意識の向上を図るため、財政状況に関する情報を市民に分かりやすく公表するよう努めなければならない。<br>・ <u>市民は</u> 、市の財政状況について、自らの、また、将来世代の生活に関わる <u>問題として理解し、行動するよう努めるものとする</u> 。 | (健全な財政運営)<br>第21条 市は、効果的かつ効率的な市政運営、必要な財源の確保、財産の適切な管理及び運用等により、中長期的な視点から財政の健全性の確保を図らなければなりません。<br>2 市は、財政運営に関する透明性の確保及び市民の理解の促進を図るため、毎年度の予算及び決算その他財政状況に関する情報を市民に分かりやすく公表するよう努めなければなりません。<br>3 市民は、市の財政状況について、自らの、又は、将来世代の生活に関わる問題として理解し、財政の健全性の確保のため、行動するよう努めるものとします。  | ア 「等」の「執行機関」について、予算に関する執行権がない執行機関もあるが、書き方は「市長等」でよいのか。⇒ <b>「市」でまとめて整理。</b><br>イ 1つ目の「・」の1行目の「効果的かつ効率的な市政運営」と2行目の「財産の適切な管理及び効率的な運用」の表現は異なるがこれでよいか。「適切な管理及び効率的な運用」について、「適切な管理運用」でよいのではないか。⇒ <b>財産について「適切な管理及び運用等」に修正。</b><br>ウ 「中長期的視野に立った」の表現が2箇所出てくるが、「視野」に「立つ」という表現は適切か。「中長期的な財政の健全性の確保」や「中長期的な視点で」等でよいのではないか。⇒ <b>「中長期的な視点から」に修正。</b><br>エ 「努めることにより」という手段を別に記載して整理するのはどうか。⇒ <b>それほど文章は長くないので修正せずに文章整理。</b><br>オ 2つ目の「・」について、「市の意思決定を行うに当たっては」の表現が分かりづらいか。議会が意思決定をするのか、市が意思決定をしているのか。また、「十分に」は当たり前ではないか。⇒ <b>2つ目の「・」は、第1項で主語を「市」でまとめて統合し、削除。</b><br>カ 3つ目の「・」の「透明性の確保」は何の透明性かが不明瞭である。執行の透明性か。⇒ <b>「財政運営に関する」と追記。</b><br>キ 4つ目の「・」について、「問題として理解し」は、何を理解するのかが分かりづらくないか。<br>ク 「市民は、～行動するよう努めるものとする」とあるが、何を努めるのか不明瞭ではないか。<br>ケ 「行動する」とは、具体的にどのようなものを示しているのか。  |

| 中間報告・条例案骨子   | 修正(案)   | 疑問点等(第19・20回検討委員会での意見)及び最終報告たたき台作成チームで検討した対応等  |
|--|---|--|
|  |   | ⇒(キ～ケ) 4つ目の「・」は、特に財政運営の場所にこの記述があると、行政が市民に我慢や寄附などを強いているような印象も受けるため対応は保留。市民の責務(第6条)のところで、まちづくりに当たっては「次世代の負担をはじめ、将来の地域及び社会に与える影響に配慮」よう努めることを記述。   |
| <p><b>⑨監査</b></p> <p>●(監査の実施及び運用)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>監査委員は、適正で、<u>合理的かつ効率的な行政運営</u>を確保するため、市の財務に関する<u>事務</u>の執行、<u>経営に係る事業</u>の管理等について監査を行う。</li><li>市長は、適正で、合理的かつ効果的な<u>行政運営</u>を確保するため、<u>外部監査人</u>による監査を実施しなければならない。</li><li>監査委員及び外部監査人は、市民に問題点、改善点等が分かりやすいように監査結果に関する報告をまとめることに努め、監査委員はこれを公表しなければならない。</li><li>議会及び市長等は、監査結果に基づき、市政運営の向上に努めなければならない。</li></ul> | <p>(監査の実施等)</p> <p>第22条 監査委員及び外部監査人(地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の30第1項に規定する外部監査人をいう。以下、この条において同じ。)は、市の財務に関する事務の執行等について、適正に監査を行わなければならない。</p> <p>2 監査委員及び外部監査人は、市民に問題点、改善点等が分かりやすいように監査結果に関する報告をまとめることに努め、監査委員はこれを公表しなければならない。</p>      | <p>ア 1つ目の「・」で、「合理的かつ効率的」とあるが、他の箇所のように「効率的かつ効果的」の表現にあわせた方がよいのではないか。</p> <p>イ 「市政運営」と原則的に中間報告では使っているが「行政運営」でよいのか。</p> <p>ウ 「経営に係る事業」とは何か。</p> <p>エ 「事業」か、「事業等」か。また「政策」か、「政策等」か。</p> <p>オ 2つ目の「・」にある、「外部監査人」とは何かわかりづらい。</p> <p>カ 監査の項目自体を削除してもよいのではないか。</p> <p>キ 「財政運営」と「監査」を関わらせながら書くべきではないか。</p> <p>⇒(ア～キ) 3つ目の「・」(わかりやすい監査結果の公表の部分)を特に残すこととし(第2項)、唐突に思われないよう、第1項に監査を適正に行うことを簡潔に記述。</p>   |
| <p><b>⑩行政評価</b></p> <p>●(行政評価の実施)</p> <p>市長等は、効果的かつ効率的な<u>市政運営</u>を行うとともに、<u>市政</u>の透明性を確保し、市民への説明責任を果たすため、<u>行政評価</u>を実施する。</p> <p>●(行政評価への市民参加)</p> <p>市長等は、行政評価の実施に当たっては、市民から意見を聴く、または<u>市民による評価を実施する</u>など、市民参加の方法を取り入れるよう努めるものとする。</p> <p>●(評価結果の公表及び事業等への反映)</p> <p>市長等は、行政評価の内容及び結果について、市民に対して分かりやすく公表するとともに、<u>行政評価の結果を事業等に反映させるよう努めるものとする</u>。</p>                                | <p>(市の取組の評価)</p> <p>第23条 市は、効果的かつ効率的に市政を運営するとともに、市政運営の透明性を確保し、市民への説明責任を果たすため、市の取組について評価を実施しなければならない。</p> <p>2 市は、前項の評価の実施に当たっては、市民参加の促進に努めるものとします。</p> <p>3 市は、第1項の評価の内容及び結果について、市民に分かりやすく公表するとともに、評価の結果を市政に反映するよう努めなければならない。</p> | <p>ア 行政評価の項目自体を削除してもよいのではないか。反面、健全な財政運営を行うためにも残した方がよいのではないか。⇒残す。</p> <p>イ 1つ目の「●」で、「市政運営」と「市政」が使い分けられているが、使い分けの意図が伝わるか。⇒文章整理。</p> <p>ウ 「市政」の定義が必要ではないか。⇒第2条第5号に定義。</p> <p>エ 「行政評価」という用語に対して唐突感があるのではないか。⇒「行政評価」は使わずに整理。</p> <p>オ 2つ目の「●」で、「市民による評価を実施する」とは、どのようなことか。(市民が自主的に組織をつくり評価を行うことであれば、伝わりにくいのではないか。)⇒様々な方法が考えられ、例示せず(第20条(総合振興計画)でも同様)。</p> <p>カ 市民による評価(市民が自主的に行う行政評価とした場合)も3つ目の「●」にある「行政評価の結果を事業等に反映させるよう努めるものとする」の対象になるのか。⇒市民が自主的に行うものは対象外。第18条(応答義務)に関連。</p> <p>キ 評価の実施主体が分かりづらいか。⇒文章整理。</p> <p>ク 「行政評価」はどのようなものを行っているのか。「行政評価」を柔軟に対応できるように書けないか。「行政評価」を重点的に行った方がよいのではないか(満遍なく実施するよりもよい)。年度ごとに重点施策を設定するとした方がよいのではないか。目標が設定されていなければ評価はできないのではないか。例えば三鷹市では「適切な目標設定」を前提としている。⇒評価には様々な方法があり、今後も新たな方法が生み出される可能性もあり、限定しない。</p> |

| 中間報告・条例案骨子  | 修正(案)  | 疑問点等(第19・20回検討委員会での意見)及び最終報告たたき台作成チームで検討した対応等  |
|---|--|--|
| <p><b>⑪組織、人員体制等</b></p> <p>●（組織の整備等）</p> <p>市長等は、<u>市民の視点に立ち</u>、次のことに留意して、組織の整備、職員の適正な配置、職員の育成に努めるものとする。</p> <p><u>（１）地域や市の課題に的確に対応できること。</u></p> <p><u>（２）市民が行政サービスを利用しやすいこと。</u></p> <p><u>（３）行政サービスを効果的かつ効率的に提供できること。</u></p> <p><u>（４）組織については、市民に分かりやすいこと。</u></p> <p>●（市政に参加しやすい組織風土の醸成）</p> <p>議会及び市長等は、市民が市政に<u>参加しやすい組織風土</u>の醸成に努めるものとする。</p>   | <p>（組織の整備等）</p> <p>第２４条 市は、次のことに留意して、組織の整備並びに職員の適正な配置及び育成に努めなければなりません。</p> <p>（１）地域又は社会の課題に的確に対応できること。</p> <p>（２）市民が行政サービスを利用しやすいこと。</p> <p>（３）行政サービスを効果的かつ効率的に提供できること。</p> <p>２ 市は、市民が市政に参加しやすい組織風土の醸成に努めるものとする。</p>                    | <p>ア １つ目の「●」で、「市民の視点に立ち」の意味が分かりづらいか。あえて書く必要があるのか。<br/>⇒削除。</p> <p>イ 地方分権時代の組織のあり方について、（１）～（４）で足りているか。⇒これで集約できると考えたが、他にもあれば要検討。</p> <p>ウ （１）～（３）と（４）は次元が異なっているのではないか。（２）と（４）は意味が重複しているので、（４）は削除してよいのではないか。⇒（４）は（２）に含まれるものとして削除。</p> <p>エ ２つ目の「●」で、「市民が市政に参加しやすい組織風土」は「市民参加を受け入れる組織風土」としてはどうか。市民との協働に積極的に取り組むことを書いてもよい。</p> <p>オ 「組織風土」とは何か。</p> <p>カ 「参加しやすい組織風土」は「市政への市民参加の促進」の項目に整備できないか。</p> <p>⇒（エ～カ）「組織風土」の関係は保留（一つの案として、上記オを踏まえ、「市は、市民参加を積極的に受け入れる組織風土の醸成に努めます」）。</p> |
| <p><b>⑫市の発展のための法務</b></p> <p>●（市の発展のための法務）</p> <p>・ 議会及び市長等は、地域や市の課題解決のため、自らの責任において、<u>法律、条例、規則など法令等の適正な解釈及び柔軟な運用</u>を行うとともに、必要に応じて条例や規則等の制定、改正または廃止を行うものとする。</p>   | <p>（法務）</p> <p>第２５条 市は、地域又は社会の課題の解決のため、自らの責任において、法令等の適正な解釈及び運用を行うとともに、必要に応じて条例、規則等の制定、改正又は廃止を行わなければなりません。</p>  | <p>ア 「柔軟な運用」は法を軽んじているような印象を受ける。市が自らつくる条例と規則について、「適正な解釈」や「柔軟な運用」をすることを書くのはどうか。「法律、条例、規則など法令等の適正な解釈及び柔軟な運用」については整理した方がよいのではないか。⇒「柔軟な」は削除。条例規則についても解釈や運用はあると考える。</p> <p>イ 法律に対する対応と条例に対する対応を書き分けているが読みづらくないか。⇒前段は同じであり、分けるとそれが繰り返しになる。</p>  |
| <p><b>⑬危機管理</b></p> <p>●（危機管理）</p> <p>・ 議会及び市長等は、危機（市民の生命、身体及び財産に重大な被害を及ぼす、またはそのおそれのある災害、事件、事故など緊急の事態をいう。以下同じ。）に対する市民の生命、身体及び財産の保護、市民生活の安心と安全を守ることを目的として、次に掲げることに努めなければならない。</p> <p>（１）<u>「自助」、「共助」、「公助」</u>の考え方及び危機管理対策について市民へ周知及び啓発を行うこと。</p> <p>（２）市民や関係機関と危機管理に関して積極的に協議し、または相互に協力し、適切な対応を準備すること。</p> <p>（３）危機発生の予測・予知、被害の未然防止・回避・軽減、危機の再発防止を図ること。</p> <p>（４）<u>被害者の救済など危機の収拾</u>を図ること。</p> <p>・ 市長等は、危機発生時には、その情報を速やかに収集、発信し、<u>市民及び地域とともに迅速かつ効果的な対応を図</u>らなければならない。</p> | <p>（危機管理）</p> <p>第２６条 市は、危機（市民の生命、身体及び財産に重大な被害を及ぼし、又はそのおそれのある災害、事件、事故等緊急の事態をいう。以下同じ。）から市民の生命、身体及び財産を保護し、市民生活の安全及び安心を守るよう努めなければなりません。</p> <p>２ 市は、市民が自ら、又は互いに協力して危機に備えることの必要性の周知及び啓発を行うとともに、市民及び関係機関と連携して適切な体制の整備及び対策の準備に努めなければなりません。</p> | <p>ア 簡略化すべきではないか。</p> <p>イ 「緊急の事態」について、静かに進行する危機もあるのではないか。</p> <p>ウ 「自助、共助、公助」は説明が必要ではないか。</p> <p>エ 「被災者の救済」は市で対応しきれないもの、すべきでないものもあるのではないか。</p> <p>オ 「市民及び地域とともに」の「地域」はエリアと捉えると主体となりえるか。コミュニティの場合は市民に含めてよいのではないか。「地域」について、エリアか、地域社会か。</p> <p>カ 「図らなければならない」は他にない表現である。</p> <p>⇒（ア～カ）様々な危機があり、自治基本条例では方向性を定めるものとして簡略化。</p>  |

| 中間報告・条例案骨子  | 修正(案)   | 疑問点等(第19・20回検討委員会での意見)及び最終報告たたき台作成チームで検討した対応等   |
|---|---|---|
| <p>⑭ <b>国や他の地方自治体等との関係</b></p> <p>● (国、埼玉県と市の関係)</p> <p>議会及び市長等は、市民福祉の向上と市の健全な発展のため、国及び埼玉県と<u>対等で協力的な関係を築き、相互に連携して市のまちづくりを推進するとともに、市民生活に重大な影響を及ぼすおそれのある国及び埼玉県の政策等に対し、市民の意思を尊重し、必要に応じて意見等を行うよう努めるものとする。</u></p> <p>● (他の地方自治体と市の関係)</p> <p>議会及び市長等は、<u>市が関わる他の地方自治体と積極的に連携を進め、競い合い、助け合い、共に発展していくことに努めるものとする。</u></p> <p>● (諸外国と市の関係)</p> <p>議会及び市長等は、国際交流及び国際協力を推進し、相互理解を深めるとともに、これらを通じて<u>得られた知見を、市のまちづくりに反映するよう努めるものとする。</u></p> | <p>(国、埼玉県等と市の関係)</p> <p>第27条 市は、国及び埼玉県と対等で協力的な関係を築き、相互に連携して市のまちづくりを積極的に推進するものとします。</p> <p>2 市は、市民生活に重大な影響を及ぼすおそれのある国及び埼玉県の政策等に対し、意見等を述べなければなりません。</p> <p>3 市は、他の地方公共団体と積極的に連携を進め、共に発展していくことに努めるものとします。</p> <p>(諸外国と市の関係)</p> <p>第28条 市は、国際交流及び国際協力を推進し、相互理解を深めるとともに、共に発展していくことに努めるものとします。</p> | <p>ア 1つ目の「●」は自治の基本理念(第3条)と内容が重複している。⇒<b>理念を具体化したもの。</b></p> <p>イ あえて「対等」と書くと、対等でないことを認めているように感じないか。「対等」を進展させるような書き方にした方がよいのではないか。⇒<b>今後も継続的に対等であるべきことも含む。</b></p> <p>ウ <b>市がイニシアティブをとるという趣旨も含めるべきではないか。</b>⇒「積極的に推進」に修正。</p> <p>エ 「市民の意思を尊重し、必要に応じて意見等を行うよう努めるものとする」について、<b>市民の意思も様々であり、把握・判断できるのか。</b>⇒「市民の意思を尊重し」を削除し、「意見等を述べなければなりません」に修正。</p> <p>オ 2つ目の「●」で、「市が関わる他の地方自治体」は単に「他の地方自治体」でもよいか。⇒<b>修正。</b></p> <p>カ 「競い合い」は1つの価値観に基づく競争というイメージで、違和感があるか。刺激し合うというイメージの方が近いかな。競い合うということも必要ではないか。「競い合い」とは何か。積極的に連携をする主体間は「助け合う」ものではないか。⇒「競い合い」は削除。</p> <p>キ それぞれ個性を発揮しながら、というニュアンスを出すのはどうか。⇒<b>他の自治体について言及は難しい。</b></p> <p>ク 3つ目の「●」で、諸外国との関係については「市民」も関われるのではないか。⇒<b>市民の責務としてどこまで書けるか。少なくとも「国際協力」は難しい。</b></p> <p>ケ 「得られた知見を、市のまちづくりに反映する」とあるが、自分たちの市だけでよいのか。⇒「共に発展していく」に修正。</p> |

## 市民から寄せられた意見

### ○さいたま市自治基本条例検討委員会中間報告について

- ① 市民主体の基本条例でありながら、文案は一般市民には詳細過ぎ難しくしています。

各文案の末尾が、どうとも解釈される、いわゆる役所言葉がベースになっており、一般市民目線の言葉で表して下さい。例えて、受動的な「ねばならない・努める」から、能動的な「行う・できる」にし、行動に繋がるインパクトある平易な言葉を使って頂きたい。

- ② 市民主体と云っても、基本条例をバイブルに市長の強力なリーダーシップのもと、市民（含む市民団体・自治会）と窓口担当の行政職員が一体化して行動しなければ何も出来ない事になります。

そのためにも、市長等を市長と行政職員とを分離して表し、職員一人々のやる気向上を高めて下さい。有能な職員集団を普段のルーチンワークの仕事だけに止めず、創造的行動集団に転換する絶好の機会にして頂きたい。

以上、1名の方からの意見

## 旧4市の市民憲章

| 浦和市民憲章<br>(昭和49年10月1日制定)  | 大宮市民憲章<br>(昭和55年11月3日制定)   | 与野市民憲章<br>(昭和53年11月14日制定)  | 岩槻市民憲章<br>(昭和53年5月3日制定)  |
|---|--|--|--|
| <p>わたくしたちは力を合わせ<br/>武蔵野の自然をまもり育て<br/>人間性ゆたかな住みよい浦和をき<br/>ずくため<br/>この憲章を定めます</p> <p>1 木々のみどりとあおい空 き<br/>れいなまちをきずきます</p> <p>1 未来をのぞむ文化都市 明る<br/>いまちをきずきます</p> <p>1 日々をはげんで生き生きと<br/>栄えるまちをきずきます</p> <p>1 心やさしく助け合う 福祉の<br/>まちをきずきます</p> <p>1 笑顔たやさずすこやかに 平<br/>和なまちをきずきます</p> | <p>武蔵野の台地にひらけ、交通・<br/>経済の要衝として発展する私たち<br/>のまち大宮は、武蔵国（むさしの<br/>くに）一の宮の「おおいなる宮居」<br/>からおこりました。</p> <p>私たちは、先人の文化や伝統を<br/>尊び、誰もが心のふるさとと呼べ<br/>るよう、明るく平和なまちをきず<br/>くため、市民の共通の願いとして、<br/>この憲章を定めます。</p> <p>1 私たちは、郷土の自然をたい<br/>せつにし、環境をととのえ、美<br/>しく魅力あふれるまちをつくり<br/>ます。</p> <p>1 私たちは、誰もが希望をいだ<br/>き、生きがいを感じられるよう、<br/>心のふれあうまちをつくりま<br/>す。</p> <p>1 私たちは、かけがえのない生<br/>命や健康の尊さを自覚し、安心<br/>して暮らせるまちをつくりま<br/>す。</p> <p>1 私たちは、働くことに喜びを<br/>もち、互いに力をあわせ、豊か<br/>で活力にみちたまちをつくりま<br/>す。</p> <p>1 私たちは、世界につながる広<br/>い視野をもち、未来をひらく教<br/>育文化のまちをつくります。</p> | <p>長い歴史と伝統につちかわれ、<br/>霧敷川の流れとともに歩みつづけ<br/>てきた、ふるさと与野。わたくし<br/>たち市民は、このまちに住むこと<br/>を誇りとし、より平和により豊か<br/>に発展することを願い、心をこめ<br/>てここに憲章を定めます。</p> <p>1 みんなで きずこう きれい<br/>な郷土</p> <p>1 みんなで まもろう 社会の<br/>きまり</p> <p>1 みんなで つくろう 明るい<br/>家庭</p> <p>1 みんなで めざそう 豊かな<br/>福祉</p> <p>1 みんなで のぼそう 文化と<br/>スポーツ</p> | <p>太田道灌築城以来、城下町とし<br/>て栄えてきたこの地岩槻は、古い<br/>歴史と美しい自然に恵まれ、今や<br/>人形のまち、平和な文化住宅都市<br/>として、大きく発展しようとして<br/>います。</p> <p>この郷土に住むわたしたちは、<br/>市民で有ることの自覚と誇りをも<br/>ち、さらに、美しい調和のある住<br/>みよい岩槻にするため、この市民<br/>憲章を定めます。</p> <p>わたしたちは、</p> <p>1、郷土の歴史と風土をはぐくみ、<br/>住みよい岩槻をつくりましょ<br/>う。</p> <p>1、自然と緑を愛し美しい岩槻を<br/>つくりましょう。</p> <p>1、仕事に誇りと信念を持ち楽し<br/>い岩槻をつくりましょう。</p> <p>1、自己啓発と教養を高めすぐれ<br/>た岩槻をつくりましょう。</p> <p>1、道徳と規則を守り明るい岩槻<br/>をつくりましょう。</p> |